

## 第VIII欄 (iii) 先の出願の優先権を主張する国際出願日における出願人の資格に関する申立て

申立ては実施細則第213号に規定する標準文言を使用して作成しなければならない。第VII欄と同欄(i)～(v)の備考の総論部分、及び本頁に特有の事項について第VII欄(iii)の備考を参照。この欄を使用しないときは、この用紙を願書に含めないこと。

先の出願の優先権を主張する国際出願日における出願人の資格に関する申立て（本国際出願の出願人が、優先権主張する先の出願の出願人と異なる場合、又は先の出願日から出願人の氏名又は名称が変更されている場合）（規則4.17(iii)及び51の2.1(a)(iii)）

本国際出願に関し、以下の事実により、株式会社潤工社は先の出願特願2003-393991に基づく優先権を主張する資格を有している。28.11.03付で、大木一から株式会社潤工社へなされた譲渡、28.11.03付で、下沢勝雄から株式会社潤工社へなされた譲渡、28.11.03付で、今村昭吾から株式会社潤工社へなされた譲渡および28.11.03付で、上村嘉朗から株式会社潤工社へなされた譲渡。本申し立ては、すべての国に指定のためになされたものである。



この申立ての続葉として「第VII欄(iii)の続き」がある